

平成29年度

# 事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

一般社団法人 愛知県トラック協会

# 目 次

基本方針・重点施策 .....	1
主な事業活動 .....	2
1. 人材育成対策事業 .....	2
2. 経営支援事業 .....	4
3. 交通安全対策事業 .....	5
4. 環境対策事業 .....	7
5. 適正化事業 .....	8
6. 荷主とのパートナーシップ及び相互理解の推進 .....	9
7. トラック運送事業における TWLB 協議会との連携 .....	9
その他事業活動 .....	10
1. 広報事業 .....	10
2. 労働環境改善対策事業 .....	10
3. 緊急災害輸送対策 .....	10
4. 労組代表との懇談会開催 .....	11
5. 事業者大会の開催 .....	11
6. 賀詞交歓会の開催 .....	11
7. 運行管理者試験の実施 .....	11
8. その他活動 .....	11
会 議 .....	12
1. 会 議 .....	12
2. 部 会 等 .....	12
庶 務 .....	15
1. 会 員 .....	15
2. 役 員 .....	15
3. 総 会 .....	15
4. 表彰関係 .....	16
参 考	
・平成 29 年度各種助成事業利用状況	
・平成 30 年度税制改正・予算に関する要望事項・結果	

## 基本方針・重点施策

### 1. 基本方針

中部トラック総合研修センターの完成を契機に本年を改革元年と位置づけ、根幹となる人材育成事業に力を注ぐため、「事業者が運転者に対して行う指導及び監督の指針」の改正に伴う運転者教育の充実に努めるほか、会員の事業経営の健全化・安定化、及び若年・女性労働力等の人材確保、交通事故の削減、並びに地域防災などの諸対策を強化するとともに、元気促進、生産性向上によるワーク・ライフ・バランスの実現に向け、次の重点施策を全会員参加により取り組む。

### 2. 重点施策

- (1) 人材育成・教育事業
- (2) 経営支援事業（人材確保対策事業を含む）
- (3) 交通安全・環境対策事業
- (4) 適正化事業
- (5) 荷主とのパートナーシップ及び相互理解の推進
- (6) トラック運送事業におけるワーク・ライフ・バランス (TWLB)  
協議会との連携による取り組み

## ◎主な事業活動

### 1. 人材育成対策事業

中部トラック総合研修センターを活用した各事業

#### (1) 研修事業

##### ◇乗務員対象研修

乗務員対象研修のうち、平成29年3月に改正された国土交通省告示に対応するために企画した4泊5日型の「初任ドライバー研修」は、年度計画数に近い参加者数となり、高評価を得た。また、定着した評価を受けている中堅ドライバー研修、添乗指導者養成研修は、年度計画数を超える参加者を得た。

・乗務員研修 (小型トラック、安全運行確立、中堅ドライバー他)	68回	延べ907名
・初任・適齢ドライバー研修	19回	延べ471名
・省エネ走行研修	47回	延べ503名

##### ◇事務職・管理職等対象研修

・管理者研修	11回	延べ82名
・事務職研修	17回	延べ148名

##### ◇経営者・管理者・指導者対象研修

全ト協の物流経営士資格が付与される物流大学校講座は、会員事業者、他県では関西地区の事業者をはじめ全国から多数の受講者があった。

・第25期 物流大学校講座	90名
(全ト協認定 物流経営士 1,345名 センターで受講分)	
・第21期 物流安全管理士講座	40名
(物流安全管理士 572名)	

##### ◇資格取得研修

・運行管理者試験対策研修	8回	651名
--------------	----	------

#### (2) 会員独自の研修会等の開催支援 (カスタマイズ研修)

◇研修・講習	延べ158社
◇ドライバーコンテスト等	延べ32社

#### (3) 運転適性診断事業

##### ◇義務診断

・初任診断	162回	977名
・適齢診断	68回	346名

##### ◇任意診断

・一般診断	85回	681名
-------	-----	------

#### (4) 運行管理に関する講習事業

◇基礎講習	5回	442名
◇一般講習	8回	744名

(5) 届出自動車教習所事業

平成29年11月15日 開所

◇入所者数		10名
・けん引自動車		5名
・準中型5t限定解除		5名
◇免許取得者(平成30年3月31日現在)		
・けん引自動車	受験者3名	合格者2名
・準中型5t限定解除	受験者3名	合格者3名

(6) その他研修センターの活用

◇会員の利用	延べ	20社	54回
◇他県トラック協会の利用	延べ	3県	5回
◇他団体等の利用	延べ	18社	46回

(7) 研修センター総来場者数 ((1) から (8) を含む) 約 27,000 人

(8) トラックドライバーの輸送の安全と環境保全に対する意識の向上策

◇第49回愛ト協トラックドライバーコンテストの開催 (H29.9) 出場者 94名

〔愛ト協〕

大型部門	優勝	カリツー(株)	刈谷物流センター	小野	久志
中型部門	〃	日本通運(株)	豊田支店	一柳	陽子
トレーラ部門	〃	日本通運(株)	名古屋国際輸送支店	渡辺	功彦

〔全 国〕 (H29.10)

第49回全国トラックドライバー・コンテストへの出場

11トン、4トン、トレーラ、女性の4部門へ4名が出場

女性部門	優勝	日本通運(株)	豊田支店	一柳	陽子
------	----	---------	------	----	----

〈 ※警察庁長官賞、全日本トラック協会会長賞 受賞 〉

◇第6回省エネ走行競技会(H29.10) 出場者 62名

優勝	カリツー(株)	岡崎営業所	富山	泰行
----	---------	-------	----	----

## 2. 経営支援事業

### (1) 適正取引に係る諸施策の推進

- ◇原価意識向上実務セミナー 参加者 78名
- ◇標準貨物自動車運送約款等一部改正の説明会（5回） 参加者 865名

### (2) 経営支援に係る助成

#### ①交付金及び近代化基金果実による利子補給

##### ◇近代化基金融資及び利子補給

##### ・融資推薦

一般融資 21件 457,220千円

ポスト新長期適合車融資 160件 3,001,990千円

・利子補給額（全ト協負担分を含む） 85,774千円

②信用保証料の助成 138件 34,629千円

③自家用燃料供給施設整備支援助成 6件 6,000千円

### (3) 人材確保対策事業の推進

①「トラック運送事業者のための人材確保セミナー」の開催 参加者 106名

②「物流出前授業 教材用動画・スライド」の作成

③トラガールによる愛知県知事への表敬訪問

④女性限定！トラック乗車体験会 一般参加者 22名

⑤総合職採用に向けた合同就職説明会（愛知学院大学） 参加学生 70名

### (4) 各種講習等に係る助成

#### ①自動車事故対策機構

・運行管理者一般講習受講 2,804名

・運転適性診断受診（初任・適齢） 7,578名

・安全マネジメント講習会受講 74名

②中小企業大学校受講 26名

③各種技能講習受講助成 459名

④中型・大型・けん引免許取得助成 338名

### (5) セミナーの開催

①経営革新セミナー上期（H29.8.30） 参加者：89名

②経営革新セミナー下期（H30.2.13） 参加者：119名

③過労死等防止・健康起因事故防止セミナー 参加者：89名

④トラック運送業における生産性向上セミナー 参加者：110名

⑤支部セミナー（開催9支部18回）

### (6) 各種陳情・要望

#### ◇自民党愛知県支部連合会所属国会議員との懇談会（H29.9）

・参加者：自民党愛知県支部連合会所属国会議員 16名参加

・要望：平成30年度税制改正等に関する要望（別紙）

◇公明党愛知県本部 団体懇談会 (H29.9)

- ・参加者：公明党愛知県本部所属議員 5名参加
- ・要望：平成30年度税制改正等に関する要望

### 3. 交通安全対策事業

#### (1) 交通事故抑止活動の推進

◇愛ト協数値目標 ※国土交通省「事業用自動車総合安全プラン2009」

- ・交通事故死者数9人以下
- ・人身事故件数1,000件以下
- ・飲酒運転ゼロ
- ・危険ドラッグ等薬物使用による運行の絶無

#### 〔愛知県内における交通死亡事故発生状況〕

	平成29年(1~12月)		平成28年(1~12月)	
県内発生数	—	200名	—	212名
事業用貨物	20件	21名	31件	33名
会員第一原因	7件	8名	9件	9名

#### ①「トラック・セーフティ・ラリー」の実施 (H29.7~12)

◇参加チーム：11,859チーム (1,214社)

- ・無事故・無違反達成率：75.6% (前年比2.1ポイントUP)  
 \*重点項目のうち「飲酒運転」は前年10件から1件に減少。「シートベルト」「携帯電話」は違反件数が増加に転じたが、発生率は下がっている。「歩行者等妨害」「一時停止」「駐車違反」などが増加。「速度超過」は3年連続の減少となった。

参加状況	計	第一	第二	第三	第四	尾東	尾西	知多	西三	東三	事務局
会員数	1,214	111	105	124	89	179	205	110	184	107	
チーム数	11,859	1,782	930	806	715	1,380	1,854	585	3,020	774	13
参加人数	59,763	8,948	4,686	4,082	3,612	6,972	9,344	2,963	15,179	3,909	68
達成チーム数	8,966	1,351	695	606	501	1,030	1,304	440	2,449	579	11
達成率	75.6%	75.8%	74.7%	75.2%	70.1%	74.6%	70.3%	75.2%	81.1%	74.8%	84.6%
交通事故件数	死亡 1	重傷 8	軽傷 285	物損 19	計 313						
交通違反件数	飲酒等 1	シートベルト 475	携帯電話 490	信号無視 645	速度超過 30k未満 333 30k以上 71		一時停止 484	駐車違反 111	歩行妨害 120	その他 523	計 3,253

#### 〈表彰〉

- ・中部運輸局長表彰  
 \*西三支部
- ・愛知県警察本部交通部長特別表彰  
 \*名鉄運輸(株)  
 \*岡崎通運(株)

- ・愛知県警察本部交通部長・愛ト協会長連名表彰
  - \*名古屋第一支部  
(株)鈴木組陸運、(株)デイライン東海営業所、大宝運輸(株)
  - \*名古屋第二支部  
松栄運輸(株)、天真運輸(株)、マルタアマゾン(株)
  - \*名古屋第三支部  
宮崎運輸(株)、(株)明和ライナー、名海運輸作業(株)
  - \*名古屋第四支部  
林運送(株)、三雪運輸(株)、名古屋特殊自動車(株)
  - \*尾東支部  
(有)神田運輸、商都通信、ヤマトボックスチャーター(株)
  - \*尾西支部  
(有)一善カーゴサービス、明治サービス(株)名古屋営業所、アキタ(株)
  - \*知多支部  
菱東運輸(株)、愛協産業(株)、名港陸運(株)
  - \*西三支部  
熊野輸送(株)名古屋営業所、知立大興(株)、豊友輸送(株)
  - \*東三支部  
(株)井口運輸、作手運輸(株)、ホイテクノ物流(株)

②トラック安全デー活動等の推進

- ・各支部における交通安全運動の展開 183 回
- ・各支部における交通安全講習会の開催 48 回
- ・愛知県高速道路交通安全協議会が行う交通安全活動に参加 3 回
- ・スピードダウン！ゆっくり走ろう！運動の展開  
車外用ステッカーの配布  
啓発用のぼり旗の配布

③事故防止セミナー・研修会の実施

- ・運輸安全マネジメント認定セミナー 参加者 101 名
- ・交差点事故セミナー 参加者 58 名
- ・点呼・日常点検執行セミナー 参加者 111 名
- ・事故惹起者面談スキルアップ研修 (2 回) 参加者 45 名
- ・ドライブレコーダー活用スキルアップ研修 参加者 37 名
- ・健康経営～居眠り運転事故防止セミナー 参加者 60 名
- ・中高年ドライバーの安全対策 参加者 38 名
- ・荷役作業事故防止セミナー 参加者 36 名
- ・駐車場事故防止セミナー 参加者 42 名
- ・トレーラの適正な使用等に係る研修会 参加者 45 名



(2) 「交通安全表彰」の実施 (表彰対象年度 28 年度)

①交通安全功労会員表彰	57 社
②交通安全特別賞 (10 年間無事故継続)	7 社
③交通安全金 賞 (7 年間無事故継続)	6 社
④交通安全銀 賞 (5 年間無事故継続)	23 社
⑤交通安全銅 賞 (3 年間無事故継続)	32 社
⑥1 年間無事故認定	197 社

(3) 安心・安全を支援する事業の実施

①EMS 機器	3,707 基
②運行管理 (ドライブレコーダー) 支援機器	4,900 基
③ASV 装置	
・衝突被害軽減ブレーキ装置等	567 基
④安全装置	
・後方視野確認支援装置	1,098 基
・アルコールインターロック装置	5 基
・追突防止装置	163 基

(4) 関係機関との連携・協力

- ①陸運労働災害防止協会愛知県支部
- ②愛知県交通安全推進協議会
- ③愛知県高速道路交通安全協議会
- ④愛知県交通安全協会・県下各警察署単位の交通安全組織
- ⑤愛知県自動車会議所を中心とする自動車関係団体
- ⑥大型車通行適正化に向けた中部地方連絡協議会

4. 環境対策事業

(1) 自動車交通環境改善への対応

①低公害車導入促進助成	
・天然ガス自動車	13 台
・ハイブリッド自動車	59 台
②グリーン経営認証取得の促進	
・講習回数: 1 回	
・参加者: 4 社	
・取得助成: 4 社	
・更新助成: 55 社	
③アイドリングストップ支援機器	65 基

(2) 関係機関との連携・協力

- ①あいち新世紀自動車環境戦略会議
- ②名古屋市自動車公害対策推進協議会

## 5. 適正化事業

### (1) 適正化事業の推進

#### ①巡回指導

◇通常巡回	1,228 事業所
◇新規巡回	81 事業所
◇特別巡回	43 事業所
◇集合指導	26 事業所

※通常・新規巡回評価内訳

A評価 877 件／B評価 327 件／C評価 87 件／D評価 6 件／E評価 3 件  
その他評価 9 件

#### ②法令遵守体制の構築支援

法令改正により指導項目が追加された「国土交通省告示 1366 号教育指導マニュアル」や「巡回指導項目自主点検チェックシート」「参考事例・解説集」ほか、各種リーフレットの作成・配布

#### ③「貨物自動車運送事業者が運転者に対して行う指導及び監督の指針」

改正に伴い、管理者向けセミナーの開催(2回) 772 事業所 987 名

### (2) フォローアップ体制の強化

◇改善基準告示研修会(3回)	158 事業所 203 名
◇フォローアップ研修会(4回)	93 事業所 106 名

### (3) 新規事業者等に対する法令遵守の推進

◇新規事業者講習会	18 事業所
◇霊柩事業者集合指導	18 事業所
◇急便事業者集合指導	8 事業所

### (4) 指導員の資質向上及び各組織との連携

◇愛知県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会	1 回
◇中部ブロック適正化事業連絡会議	3 回
◇行政関係機関等の連絡会議(運輸行政:10回)	10 回
◇労働局との合同による巡回指導	4 回
◇全国貨物自動車運送適正化事業実施機関研修会 (初級研修、システム研修、専門研修、特別研修)	4 回

### (5) 安全性評価事業(Gマーク)の認定に向けた支援

◇認定事業者数 334 事業者 454 事業所(4,263 事業所中 1,637 事業所認定/認定率 38.4%)	
◇支部別説明会の開催	4 回 191 事業者 267 名

### (6) 輸送秩序確立に向けての推進活動

◇社会保険等の未加入事業者特別講習会及びヒヤリング(1回)	10 事業所 12 名
-------------------------------	-------------

## 6. 荷主とのパートナーシップ及び相互理解の推進

### トラック運送事業者の取引環境・労働時間改善協議会への参画

運送事業者、荷主、行政等の関係者が一体となり、トラックドライバーの長時間労働の抑制に向けた環境整備について協議した。

労働時間の改善を図るため、パイロット事業を運送事業者とその荷主の協力を得て、中部運輸局、愛知労働局と共に実施した。

## 7. トラック運送事業におけるワーク・ライフ・バランス（TWLB）協議会との連携

### （1）物流の生産性向上への取り組み

大手荷主の配送センターを訪問し、運送事業者と荷主との連携による生産性向上を図った物流システムの見学を行った。また、最新技術や情報の活用を図るため、学識経験者による研修会を実施した。

今後、生産性向上に向けて解決策の方向性について協議して行く。

### （2）健康経営のための元気促進・働き方への取り組み

健康経営を促進するため、日本快眠協会による生活習慣病など体に悪影響をもたらす不眠への対策研修や、運動不足を解消するためのツールとして「トラックドライバーズ体操」をDVDに収録し、幅広い活用を行っていただくため、支部役員事業者に配布した。

今後は、健康経営の施策を協議し活用を目指して行く。

## ◎その他事業活動

### 1. 広報事業

#### (1) 「第13回トラックと交通安全・環境フェア」の開催 (H29.10)

◇場 所：豊田スタジアム

◇来場者：約 27,000 名

◇内 容：・トラックドライバーのお仕事体験  
・はたらくトラック大集合  
・トラックの死角体験  
・『くらとくん』スタンプラリー等

#### (2) 機関誌「トラックあいち」、ホームページによる情報提供

◇トラックあいち 毎月1回発行

◇ホームページ 557,659 ページビュー

#### (3) 各種メディアによる広報

◇「交通安全対策」広報

テレビCM160本放送、街頭ビジョン(4カ所)26,242本

◇プレスリリース

「第13回トラックと交通安全・環境フェア」の開催

### 2. 労働環境改善対策事業

#### (1) 労働環境改善に係る活動

◇労働セミナー 7支部 11回

#### (2) 健康起因事故防止対策助成

①睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査

受診者数：1,957名(全ト協分含む)

②脳ドック 受診者数：202名、心臓ドック 受診者数：156名

### 3. 緊急災害輸送対策

#### (1) 総合防災訓練への参加

◇防災訓練参加回数：17回

◇参加台数：22台

◇参加人員：50名

#### (2) 広域物資輸送拠点の開設・運営訓練 (H29.12)

南海トラフ地震等の大規模災害へ備えるため、愛知県や豊田市と連携し、あいち災害物流マニュアルの検証を目的とした実働訓練を実施した。

### (3) 緊急輸送体制の整備

平成 28 年度に愛知県と締結した「災害時等における物資等の緊急輸送等に関する協定書」に基づき、大規模災害発生時の緊急物資輸送に迅速かつ適切な対応をとるべく、協会BCP（事業継続計画）の策定に向け、災害対策委員会にて協議を重ねた。

## 4. 労組代表との懇談会の開催（H29. 9）

- ◇参加団体：全日本運輸産業労働組合愛知県連合会  
交通労連中部地方総支部  
全日本建設交運一般労働組合愛知県本部

## 5. 事業者大会の開催（H29. 8）

- ◇場 所：名古屋東急ホテル
- ◇参加者：295 名
- ◇講演会：[第一部 講演会]  
テーマ：「トラック業界を巡る現状と課題について」  
[第二部 経営革新セミナー]  
テーマ：「70歳代まで健康で働ける秘訣」

## 6. 賀詞交歓会の開催（H30. 1）

- ◇場 所：名古屋東急ホテル
- ◇参加者：329 名
- ◇講演会：テーマ「果てしなき挑戦・金メダルへの道～金メダリストの育て方～」

## 7. 運行管理者試験の実施

- ◇第 1 回（H29. 8）受験者 2, 356 名（合格者数 898 名 合格率 34. 5%）
- ◇第 2 回（H30. 3）受験者 1, 759 名（合格者数 638 名 合格率 36. 2%）

## 8. その他活動

### (1) 支部組織等の充実

本部・支部・研修センターが連携し、各種行事への全員参加に努めた。

### (2) 未加入事業者の入会の促進(入会会員：44社)

- ◇本部、支部が連携した事業者訪問
- ◇適正化事業実施機関が行う巡回指導
- ◇中部運輸局愛知運輸支局講習会での説明(2回)

## ◎会 議

### 1. 会 議

◇理事会	6回
◇常任理事会	12回
◇正副会長会議	19回
◇総務委員会	17回
・近代化基金運営専門委員会	12回
・業務施設運営専門委員会	5回
◇支援委員会	6回
◇交通対策委員会	7回
◇環境対策委員会	7回
◇災害対策委員会	3回
◇適正化事業特別推進委員会	2回
◇研修センター運営委員会	6回
・研修検討委員会	2回
◇トラック運送事業におけるワーク・ライフ・バランス協議会	4回
・生産性向上研究会	4回
・元気促進働き方研究会	4回

### 2. 部会等

#### (1) 特別積合せ部会 (21社)

ドライバー不足など厳しい事業環境が続く中、輸送秩序の確立を図るため、「運営委員会」(総会、委員会5回)、「ブロック会議」(名古屋中・南、小牧、一宮、西三河、東三河の県内6ブロック)を開催し、諸問題について会員相互の情報交換を行い、連携を深めた。

#### (2) 青年部会 (229社)

若手経営者の自己研鑽の場として、セミナー、会員交流会など3委員会(総務・研修・事業)により企画・立案・実施した他、昨年度に引き続き、「みんなで学ぼう!トラックと交通安全・環境フェア」の企画・運営に参画した。また、全国の各ブロック大会への参加、他団体青年組織との交流会を実施し、積極的に意見交換を行った。

#### (3) 女性部会 (35社)

設立8年目となった本年度は、各種研修会や新年交通安全参拝を行ったほか、滋賀県で開催された近畿ブロックの女性組織による「女性経営者交流会」に参加するなど、他県の女性部会との交流会にも積極的に参加し意見交換を行った。また、全国組織として、全日本トラック協会に女性部会が設立された。

#### (4) 品目別部会

##### ◇中部タンクトラック部会 (56 社)

会員に対し最新有益な情報を提供し、事業の利便を図る為、ホームページを随時更新した。安心・安全に関しては、災害や事故などの不測の事態に会員各社が協力して社会的な影響を最小限に抑えるための相互援助協定である「99 ネット中部」を締結している。

関連6団体(鍍金・塗装・薬種・歯科・医器・タンク)で毒劇物及び劇物取扱法、消防法に基づく資格試験の受験講習会を実施し、有資格者の確保に努めた。また、危険物取扱の安全確保・未然事故防止を目的とした「荷卸し時の相互立会い」推進活動を昨年に引き続き実施した。

##### ◇生コン部会 (25 社)

厳しい経済状況に対応すべく各種会議を定期的に行う。会員相互の情報交換を積極的に行ったほか、全ト協生コン部会を通じ全国の部会員との連携強化や事故防止活動に努めた。

##### ◇セメント部会 (19 社)

国内でのセメントの販売・運送状況等について随時会議等を開催し、会員相互の情報交換に努めてきた。また、荷主懇談会を開催し、メーカーと運送業者の相互理解を深めたほか、全ト協セメント部会にも積極的に参加し、全国レベルでの情報交換及び調査研究を行った。

##### ◇ダンプトラック部会 (18 社)

先行きの見えない経済情勢の中、随時部会を開催し、厳しい状況に対応するため会員相互の情報交換を積極的に行った。また、全ト協ダンプカー部会では、現状のダンプカー輸送について国土交通省とも意見交換を行い、過積載や交通事故防止、営業類似行為排除の取り組みによって連携強化に努めた。

##### ◇海上コンテナ部会 (255 社)

集中管理ゲート及びSOLAS条約に基づく出入り管理情報システムの管理・運用を行った他、返却コンテナの洗浄、ラベル剥離等の付帯作業が抱える問題点や「国際海上コンテナの安全輸送ガイドライン」の周知状況について、関係行政や関連団体と協議・協力を行った。また、毎月ターミナルパトロールを実施し、構内ルールの遵守や安全運行を呼び掛けるとともに、港湾道路における路上駐車シャーシの改善指導を行った。

更に、蟹江警察署、愛知運輸支局と合同による緊締装置の街頭指導を実施し、横転事故防止に努め、名古屋港管理組合、飛島村役場と合同により「クリーンキャンペーン」と題し、地域の清掃活動を行った。

#### ◇重量品鉄鋼部会（45社）

全ト協の3部会（重量部会・鉄鋼部会・鉄骨橋梁部会）の会議及び研修会へ積極的に参加し、他県との意見交換等を行った。また、特殊車両の通行に関する指導取締要領の一部改正等に伴い、法令等の正しい理解と周知徹底を図るため、特殊車両通行許可に係る講習会を開催した。

#### ◇食料品部会（32社）

全ト協の会議へ積極的に参加し様々な諸問題に取り組む等、意見交換・情報収集等に努めた。また、愛知県冷蔵倉庫協会との意見交換会を開催し待機時間等の諸問題について議論した。消防署より救命のプロをお招きし、現場の声を交えた実践的な知識や技術の習得をするため、救命講習会を開催した。

#### ◇引越部会（25社）

厳しい経営状況が続く中、会員相互の意見交換並びに親睦を図るため、賀詞交歓会、研修会等を開催した。

一方、消費生活センター・一般消費者からの輸送相談窓口として、引越相談、クレーム処理に対応した。また、引越講習並びに引越管理者講習には、当部会からも多数参加し、引越運送約款を中心とした基礎知識の習得・再確認と専門知識の習得に努めた。全ト協が推奨する引越事業者優良認定事業所（引越安心マーク）を周知するため、のぼり旗の作成やラッピングトラックを行った。



## ◎庶 務

### 1. 会 員

平成30年3月31日現在

会員総数 2,566 社

車両総数 75,267 台

支部	会員数	支部	会員数
名古屋第一支部	197	尾 西 支 部	442
名古屋第二支部	217	知 多 支 部	259
名古屋第三支部	222	西 三 支 部	381
名古屋第四支部	198	東 三 支 部	260
尾 東 支 部	390	合 計	2,566

※入会：44社・退会：22社

### 2. 役 員

◇役員数 (H30.3.31 現在)

- ・会 長 1名
- ・副 会 長 7名
- ・常 任 理 事 27名
- ・理 事 60名
- ・専 務 理 事 1名
- ・常 務 理 事 3名
- ・監 事 3名

### 3. 総 会

◇第8回 通常総会

H29.6.15 (中部トラック総合研修センター)

◇第9回 通常総会

H30.3.9 (中部トラック総合研修センター)

#### 4. 表彰関係（敬称略）

##### （1）国土交通大臣表彰

◇功労者 山三石油運輸(株) 社長 米花 立美

◇道路運送事業等運転者永年勤続

金川運輸(株) 運転者 津曲 龍治  
カリツー(株) 運転者 夏目 達夫

##### （2）中部運輸局長表彰

◇事業役員 齋藤運輸(株) 会長 齋藤 靖人  
◇運転者 2名

##### （3）中部運輸局愛知運輸支局長表彰

◇事業役員 亀甲通運(株) 社長 生川 慶一  
◇運転者 1名  
◇運行管理者 2名  
◇団体職員 1名

##### （4）中部運輸局優良事業者表彰(安全性優良事業所)

◇20 事業所

##### （5）中部運輸局愛知運輸支局優良事業者表彰(安全性優良事業所)

◇10 事業所

##### （6）警察関係表彰

◇交通栄誉章「緑十字金章」  
・事業役員 三英運輸(株) 佐藤 友保  
・運転者 1名

◇交通栄誉章「緑十字銀章」  
・事業役員 トランコム(株) 武部 宏  
柘運送(株) 柘 勝  
東山(株) 青木 均  
・運転者 2名

◇中部管区警察局長・中部交通安全協会会長連名表彰  
・運転者 7名

◇交通栄誉章「緑十字銅章」  
・運転者 17名

◇愛知県警本部長・愛知県交通安全協会会長連名表彰  
・運転者 88名

(7) 全ト協表彰関係

◇全ト協表彰規程による表彰

・事業役員

豊運輸(株)

社長 植原 素士

近藤運送(株)

社長 近藤 和彦

(株)北川組運輸

社長 北川 初博

(株)マルセイカンパニー

社長 金田 清隆

春日井運輸(株)

社長 奥村 高博

水谷運輸(有)

取締役 水谷 吉久

鳴海急送(株)

社長 酒井 誠

三鈴総業(株)

社長 鈴木 信司

岡村運送(株)

社長 岡村 正治

・優良運転者 1名

◇優良運転者顕彰

・金十字章 21名

・銀十字章 98名

(8) 全ト協「正しい運転・明るい輸送運動」表彰

◇9事業所

## 平成29年度 各種助成事業利用状況

助 成 事 業	助成額(円)
自家用燃料供給施設整備支援事業	6,000,000
近代化基金融資 (全ト協分含む)	85,774,333
信用保証料助成事業	34,629,252
運行管理者一般講習助成事業	8,692,000
運転適性診断受講助成事業 (初任・適齢)	35,616,000
中小企業大学校受講助成事業	645,400
各種技能講習受講助成事業	18,074,200
貨物自動車運転免許取得助成事業	21,500,000
E M S 装置助成事業	92,675,000
運行管理支援機器 (ドライブレコーダー) 導入助成事業	85,100,000
A S V 装置導入助成事業	42,966,000
安全装置導入助成	26,991,000
低公害車導入促進事業 (リース・買取)	14,786,000
グリーン経営認証取得助成事業	1,720,000
アイドリングストップ支援機器導入助成	2,421,000
睡眠時無呼吸症候群 (SAS) スクリーニング検査助成事 (全ト協分含む)	4,892,500
脳ドック・心臓ドック	3,481,000
運輸安全マネジメント	185,000
合 計	486,148,685